

1. 令和5年度 特定健康診査・特定保健指導の実施状況

図1 特定健診受診率・保健指導実施率の推移

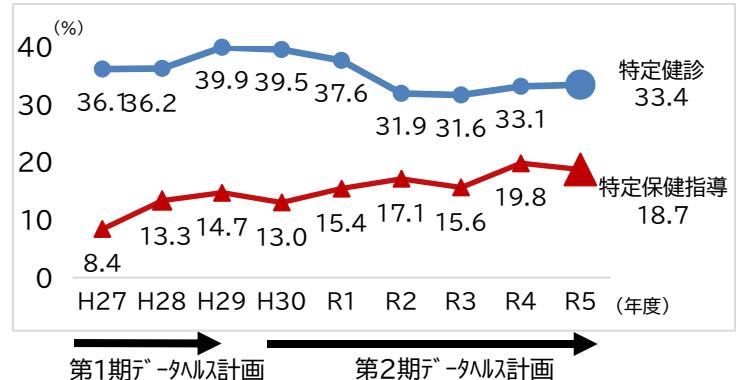


表1 H30～R5年度 目標と実績

項目	目標	H30	R1	R2	R3	R4	R5
		特定健診受診率(%)	39.5	41.0	42.5	44.0	45.5
保健指導実施率(%)	目標	16.5	18.0	19.5	21.0	22.5	24.0
	実績	13.0	15.4	17.1	15.6	19.8	18.7

表3 R5年度 実施内容と実施状況

実施内容	R5年度の状況	
	対象者数	終了者数
健診	109,922人	36,712人
保健指導	4,008人	749人
	3,161人	644人
	847人	105人

表2 R5年度 政令市・県内市町村での順位

項目	政令市 20		県内市町村 54	
	順位	平均	順位	平均
特定健診受診率	7 (↓)	30.4%	49 (↓)	38.8%
保健指導実施率	7 (→)	14.4%	36 (↓)	23.6%

\*終了者: R5年度特定健診受診者のうち特定保健指導を終了した者とR4年度特定健診受診者のうちR5.11月に降に特定保健指導を終了した者の合計

2. データヘルス計画における個別保健事業 指標ごとの実績・評価 【達成状況】○:目標達成 △:目標未達だが、前年度より改善または同値 ×:目標未達、前年度より悪化

目標	事業(対策)	R5年度事業概要	評価指標	H30	R1	R2	R3	R4	R5			
				実績	実績	実績	実績	実績	実績	目標	達成状況	評価
1	特定健康診査の受診率の向上	1 はがきによる勧奨(6・10月) 133,375件 健診受診歴により対象者を分類。対象者別に勧奨通知を送付。 2 SMSによる勧奨(7～11月) 30,428件 3 電話による勧奨(9月) 702件(状況確認できた件数313件) 国保連合会の受診率向上支援事業を活用。40～59歳の不定期受診者へ電話勧奨を実施 4 39歳はがきによる勧奨(R6.3月) 1,548件 次年度健診の対象となる39歳へ健診の啓発を実施。 5 お知らせサービス(LINE)(8・10・12月) 2,701件	①40～64歳の受診率(%)	26.4	24.7	20.5	20.4	22.1	22.6	30.5	△	・新型コロナの影響により令和2年度より中止していた受診勧奨業務委託の企画提案方式での実施を令和5年度より再開し、令和5年度はハガキの他、SMSによる勧奨を実施し、前年度同時期より受診率は増加している。 ⇒R6年度:継続実施、今後も民間事業者のノウハウを活用する中で、国保途中加入者への勧奨や各月の受診者数をグラフ化し、おすすめの時期を記載するなど勧奨対象者や通知内容の工夫を行う。
			②65～74歳の受診率(%)	48.0	45.9	39.2	39.0	40.9	41.4	54.3	△	
			③長期未受診者*1割合(%)	43.5	43.8	44.6	45.7	48.0	50.5	39.0	×	
2	2 継続受診の促進 経年の健診結果を通知(10月) 1,541件 過去5年間の健診結果をグラフ化し、健康アドバイスを記載した通知を送付した。 3 健診受診者等の健診データ取り込み 1 リーフレット・ポスター等による事業周知 2 過去の申請者へ申請書を送付(R5.11) 159件	④継続受診率*2(%)	76.9	72.1	69.4	74.8	82.4	87.0	78.0	○		
		⑤結果報告人数(人)	248	182	137	277	261	192	前年より増加	×		
		⑥利用率(%)*3	17.7	20.7	20.0	21.9	23.9	25.1	30.1	△		
3	特定保健指導の実施率の向上	1 対象者へ通知・電話による利用勧奨を実施 2,780件(千葉市 1,101件、委託事業者 1,679件) 2 民間委託 1 訪問・ZOOM等で保健指導を実施 終了者:425人 2 ICT機器(ウェアラブル端末)を活用し保健指導を実施 終了者:55人(定員60人、中断5人) 3 健診実施医療機関での保健指導 終了者:329人 3 研修会の実施 ・特定保健指導の従事者に対して、オンライン研修会を実施。参加(アクセス数)87件	⑦終了率(%)*4	81.9	82.0	95.2	73.3	91.1	81.1	87.6	×	・ICT機器を活用した特定保健指導の委託をR4年度はモデル実施し、R5年度から本格実施した。通知や電話による勧奨を行い、定員60名を参加につなげることができた。新たな取り組みを行ったが、前年度同時期と比較し特定保健指導の実施率はやや低下した。 ⇒R6年度:継続実施 ICT機器を活用した特定保健指導定員 60人(R5)→90人(R6)
			⑧実施率(%)	14.5	16.9	19.0	16.9	21.8	20.4	26.4	×	
			⑨指導後受療率(%)	29.7	28.1	32.9	36.6	37.7	28.5	30.3	×	
3	重症化予防	・人工透析移行防止のために、千葉市医師会と連携し、糖尿病性腎症の発症・重症化リスクの高い方を対象に計3年間の保健指導を実施。(初年度は月1回6か月間、2・3年目は面談を含む年1～3回の指導) R5年度新規参加者:51人(修了者44人) R4年度開始者へのフォロー:42人(修了者32人) R3年度開始者へのフォロー:10人(修了者8人)	⑩事業参加者の新規透析患者数(人)	-	0	1 (H29参加者)	0	1 (H30参加者)	0	透析に至らない	○	・前年度と比較し、指導後受療率は減少した。指導を複数回受けているの方が、受診につながりにくく課題である。 ⇒R6年度:継続実施。 ・保健指導参加者は、人工透析には至らなかった。⇒R6年度新規:100人実施予定。また、R4開始の32人及びR5開始の45人(再開者1人含む)にフォローアップを実施予定。

\*特定健診受診率=受診者数/対象者数 \*特定保健指導実施率=終了者/対象者 \*1 長期未受診者割合=5年間健診を利用していない者の割合 \*2 継続受診率=2年間連続して健診を受けた人の割合 \*3 利用率=初回面接を受けた者/対象者 \*4 終了率=終了者/初回面接を受けた者

【総括】○目標達成…4項目 △目標未達だが、前年度より改善または同値…4項目 ×目標未達、前年度より悪化…6項目  
・特定健診の受診率は、新型コロナ感染症の影響による受診控え等により低迷していたが、令和4年度から回復に転じ、令和5年度も前年同時期と比較して回復傾向にあるもののコロナ前の水準には戻っていない。勧奨対象者や通知内容の工夫など、効果的かつ効率的な勧奨方法を見直していく。  
・特定保健指導の実施率は増加傾向であるが、10%台と低い状況である。ICT機器(ウェアラブル端末)を利用した保健指導など特定保健指導の利用につながる取り組みを引き続き実施していく。